

# 職業体験で未来発見!

団体名 ● SDP (Smile Dream Projects) / 代表者名 ● 長谷川萌夏 (人間科学部こども学科・2年)

### 活動報告 ① BonBonTownへの参加

**BonBonTownとは?**  
 "こどもがつくる仮装のまち"  
 遊びを通じた社会・経済・政治体験  
 石川県では野々市市で開催  
 (全国200市以上で実施)

SDPが実施する活動と類似している

**連携**

活動の様子

開催場所

### 活動報告 ② 流星祭「アフターハロウィン」

"ボボンタウン"が終了 → 自分達が運営・企画する番!

当日となる2日間、舞台となる金沢星稜大学でこどもたちにきてもらうには...

流星祭前、当日に配布したチラシ

インターシブ先の小学校へのチラシ配布

### 8月8日 ボンボンタウンこども 会議 参加

「こどものまちってなに?」「どんなまちにしたい?」

- ・ボランティアの役割
- ・こどもたちの会員の進行役
- ・看板づくりの補助

こども会議&お店づくりサポート  
 ・ボンボンタウンに向けて自分達のお店の看板づくり

8.8 8月8日 こども会議 看板づくりサポート

### 流星祭 本番の様子

運営から隠れているショップ・レストラン

通飾

ボランティア

パイロット

### 8月17.18日 ボンボンタウン 参加

"こどもたちによる職業体験"

- ①ハロワークへ行き、仕事を見つける
- ②自分のやりたい仕事を見つけ、体験する
- ③銀行へ行きボク (通貨) をもらう
- ④税務局へ行き税金を払う
- ⑤働いた分のボクでまちへお買い物!!

自分たちで「こどものまち」を創る

ex.選挙、設営...

### 流星祭 活動を 終えて

流星祭での職業体験では、子どもたちが職業をより身近に感じられるように仕事内容を遊びと結びつけた活動となるよう工夫しました。体験後は「楽しかった」と笑顔で感想を伝える子どもたちの姿がたくさん見られて嬉しかったです。今回の活動で多くの親子と直接関わる貴重な機会となり、今後の学びや将来の進路に繋がる経験となりました。

少人数での運営となり準備は困難だったが、子どもたちの笑顔を見て努力が報われたと感じた。地域と協力して活動するやりがいと責任を学ぶことができた。

SDPでの初めての大規模企画で不安も多かったが、仲間との連携の大切さを実感した。  
 1日目の反省を2日目に活かすことができ、改善点にも気付くことができた。  
 SDPの活動を広めるという目標を達成できたと感じている。

### ボンボンタウンに 参加 して見て

私は、助産師を担当しました。赤ちゃんのことを知りつつ、お世話をする仕事で助産師アス来るこどもたちは二日間で体験を行いました。本物の助産師さんからも仕事の大変さを伺うことができ、こどもたちが一生懸命に赤ちゃんのお世話をしたり、ミルクをあげたりする様子を見ることができとても良い経験となりました。

2日間職業体験イベントに参加してただのボランティア目線ではなくこども目線にもなりおりました。ボランティアとしてこどもで手を差し伸べて良いか、自分の中で考えて参加できた点が自分の成長にも繋がりました。また他のボランティアの方との連携も欠かせなく互いに声をかけ合いながら協力することの大切さも実感しました。

### 全体を通しての感想

- ①協働中での成長
  - SDPの活動を通して、地域のこどもたちのために活動する喜びや大きな達成感を味わうことができました。計画や準備段階では、メンバーやボランティアの方々の連携の難しさに直面することもありましたが、その都度自分自身で考えて主体的に動くよう努めました。この経験を生かして、周囲と積極的に意見を交わしながら役割を見つけ、自分から働きかけるような姿勢をこれからも大切にしていきます。
- ②地域の子どもへの思い
  - 活動全体を通して、計画や協力体制の重要性を強く実感した。準備は大変だったが、地域や子どもと関わる中で多くの学びがあり、今後に生かしたい貴重な経験となった。
- ③経験から未来へ
  - 一年間の活動を通して、社会に出る一歩を踏み出せたと感じました。自分達がやりたいことを学びに行って、習得してそこで学んだことや今までの知識から実際に企画・運営をやりたいと感じました。将来教員を目指す中で、グループで行っていく上でのルールやマネーもつけていきたいと思います。この活動から得られたことを今後の大学生活や将来にも繋げたいと思える活動ができて良かったです。

※地域連携活動報告会プレゼン資料より抜粋